

解析のためのグループ分け(敬称略)と解析対象データ(案)

- (1) 労働安全衛生総合研究所G(平成27年模型実験):平岡○、伊藤和也、内村、王林、大類、土佐、西條、福原、笹原
- (2) 地盤工学会関西支部G(大阪大学及び立命館大学模型実験と現地計測):小田○、小泉、藤本、伊藤真一
- (3) 地すべり学会関東支部G(国総研研究助成による防災科研での模型実験):落合○、後藤、若井、樋口
- (4) 広島G(笹原による実験データ):岩田○、渡邊、笹原
- (5) 現地計測G:神原○、南雲、船井、藤元、飯島、小野田

上記で○は各グループのリーダーとする。

活動方針

- (1)各グループで「崩壊発生予測」の解析を実施する。
- (2)年に3回程度(6,9,12月頃)行う小委員会において、各グループの進捗状況を確認する。
- (3)各グループの所有する計測データ等の情報の共有化を目指し、他グループのデータの解析も可能な体制の構築を目指す。
- (4)活動が軌道に乗れば、年1回程度の活動報告会(シンポ)の開催を検討する。